

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-1-1 県内企業の経営・技術革新の支援
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	経営課長 黒目 浩喜 ・ 施設課長 領家 信介	電話番号	0852-22-6645,6642
----------	-------------------------	------	-------------------

事務事業の名称	県営工業用水供給事業	
目的	(1) 対象	給水区域内にある企業
	(2) 意図	企業ニーズに合わせて工業用水を供給することにより、生産活動が円滑に行えるようにする。
事業概要	企業の生産活動の円滑化のため、経営の安定と施設の適切な運用管理に努め、工業用水を安定供給する。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	契約水量	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		25,573	26,770	26,870	26,870	
式・定義	契約企業への日平均有収水量の計		実績値	22,280	22,462	24,047	24,631		
			達成率		87.80	89.80	91.70		%
指標名	契約水量		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	2,716,393	549,748
うち一般財源(千円)	21,727	12,409

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・飯梨川工業用水においては、平成27年5月1日現在、契約水量は20,000m³/日となっている。
- ・江の川工業用水においては、平成27年5月1日現在、契約水量は8,208m³/日となっている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・江の川工業用水においては、工水を平成27年2月1日から新たに1企業が1,200m³/日契約し、平成27年4月30日から新たに1企業が408m³/日契約し、合わせて1,608m³/日の増量となった。また、平成27年2月1日より原水を受水していた企業が2,100m³/日から4,800m³/日に増量した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・飯梨川工業用水においては、契約水量の減量があり、施設利用率は58.8%となった。
- ・江の川工業用水においては、契約水量は増加したが、施設利用率はまだ54.7%である。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・飯梨川工業用水においては、給水区域に新たな企業が進出しないことや契約水量が増加しないことである。
- ・江の川工業用水においては、用水型企業が進出しないことである。

③原因を解消するための「課題」

- ・飯梨川工業用水においては、工水料金の安価等のPRが必要である。
- ・江の川工業用水においては、用水型企業が進出するために江津工業団地のPRが必要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・飯梨川工業用水においては、施設の更新や耐震化工事などによる費用の増加を抑制し、新規契約先の開拓や利用水増量のための企業訪問を行うなど需要拡大対策に取り組んでいく。
- ・江の川工業用水においては、商工労働部や江津市と連携し立地環境や優遇制度をPRするなど、用水型企業の進出による需要拡大に取り組んでいく。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）